

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公報番号

特表平7-506962

第1部門第1区分

(43)公表日 平成7年(1995)8月3日

(51)Int.Cl.<sup>a</sup>  
A 23 G 3/30識別記号 序内整理番号 F 1  
7624-4B

審査請求 来院求 予審査請求 有 (全 14 頁)

(21)出願番号 特願平5-515638	(71)出願人 ダブリューエム リグリー ジュニア カンパニー
(36) (22)出願日 平成6年(1994)10月19日	アメリカ合衆国 イリノイ州 シカゴ ノース ミシガン アベニュー 410
(85)補充文提出日 平成6年(1994)9月5日	(72)発明者 シノスキー スティーヴン
(86)国際出願番号 PCT/US92/06660	アメリカ合衆国 ニュージャージー州 グリーン ブルック ブランディーワイン ライズ 55
(87)国際公開番号 WO93/17571	(72)発明者 リード マイケル エイ
(87)国際公開日 平成5年(1993)9月16日	アメリカ合衆国 インディアナ州 メリル ヴィル リンカーン 5841
(31)優先権主亞番号 PCT/US92/01686	(74)代理人 井畠士 中村 乾 (外7名)
(32)优先日 1992年3月3日	
(33)優先権主國 WO	
(31)優先権主亞番号 906,921	
(32)优先日 1992年3月30日	
(33)優先権主國 US	

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ワックスを含まない改変されたチューインガムベース

## (57)【要約】

ワックスを含まないチューインガムベース及びその製造方法が提供される。実施態様においては、ワックスを含む類似のベースと少なくとも同じくらい良好な香味放出特性を有するワックスを含まないガムベースであって、エラストマー、ボリフェニル、エラストマー可塑剤、及びワックスを含む類似のガムベースと少なくとも同じくらい良好な香味放出特性を得る油の十分量、を含むガムベースが提供される。

持表平7-506962 (2)

被虐の歴史

1. ワックスを含む粘のページを少なく同じくくらい異なる香料香油等特性を有するワックスを含むないチューインガムベースであって、  
エスpresso:  
不含着色剤ベース。
- エスpresso型別:及び  
ワックスを含むチューインガムベースを少なくとも同じくくらい異なる香料香油等特性を有する4%~7%の乳化油を有するものと定義:  
を含むチューインガムベース。
2. 少なくとも外観の色が水系化される標準用 脂肪のワックスを含まないチューインガムベース。
3. 油脂含有率7%~9%の乳化油を有する通常用 脂肪のワックスを含まないチューインガムベース。
4. 油脂含有率なくとも1%含む標準用 脂肪のワックスを含まないチューインガムベース。
5. 合成エスpresso型の2~6の選択肢:  
実質エスpresso型~8~9の選択肢:  
エスpresso型別の1~5の選択肢:  
実質用例1~3の選択肢:  
枚数用例1~2の選択肢:  
その他の構成要素のワックスを含まないチューインガムベース。
6. エヌタマーマガジンルーム、シキサズ、ペリロ、ソマハ、マダラシラウジ  
ハリク、マダラシラウジ、タッコヨート、ニバボ、ロシングハ、チャウ  
ガハシカン、スモーケーは次回実質チューインガム、アルルギル及びその白石台  
からなる新規性が認められないと他の実質チューインガムと同一の特徴を有  
するワックスを含まないチューインガムベース。
7. テラストマーがタブリオイド、タブリオニスチレノボリマ、自由  
エネルギーラジカルボンヨウカリマ、タブリオニン、イソタブリオニン  
等のタブリオニスチレノボリマ等を有するチューインガムベース。

合成エラストマーを含む接着剤・密封剤のファックスを販売するチューインガムペーパー

2把總之匙

12. グラウンドのモルタルの地を混すことによりガムベースの他の比率を変更する操作  
モルタルの混合の方法。

13. チューンナップを熟知し、それを駆使して輸送物が少分ある場合には操作を変更することによりガムベースを混ぜる操作をモルタルの混合の方法。

14. 混合するときに落とされたムレーブルを除く操作、特に物が少分でない場合には、ガムベースのムラスマー可塑性の比率は重量を変更する。  
操作をむき出しにする操作の方法。

15. エラスマー可塑性の比率が増す=塊状化物のニラスマスター可塑性を減らすことにより柔軟性をもつ操作をモルタルの混合の方法。

16. 調理量を超過する量のワックスを含むからモルタルマスター、ボリュームセイバー、エラスマー、ライマー等混合装置を用いたガムベースを混ぜる方法を示す。  
モルタルマスター可塑性の比率を混ぜる方法。

17. ワックスを扯きから剥がし、ガムベースの他の重量をばらばらにして削除せしめることによるモルタルマスター可塑性の比率の方法。

18. 固形でなべてモルタルを削除し、  
19. 固形でなべてモルタルを削除し、  
20. 固形でなべてモルタルを削除し、  
21. 固形でなべてモルタルを削除し、  
22. ガムベースの他の重量を買入ることにより他の重量を変更する操作をモルタルの混合の方法。

23. グラウンドのモルタルの地を混すことによりガムベースの他の比率を変更する操作をモルタルの混合の方法。

24. チューンナップを熟知し、それを駆使して輸送物が少分ある場合には操作を変更することによりガムベースを混ぜる操作をモルタルの混合の方法。

25. 運搬途中で落としたガムベースを剥離し、特に物が少分でない場合には、ガムベースのエラスマー可塑性の比率の比率は重量を変更する。  
操作をむき出しにする操作の方法。

26. エラスマー可塑性の比率が増す=塊状化物のニラスマスター可塑性を減らすことにより柔軟性をもつ操作をモルタルの混合の方法。



## 特許平2-506962 (4)

～1.2。モリ断面ヒルの高さ、GPC基準平均分子量1.0、0.6～0.5、0.4で高分子量ポリ酢酸ビニルは高吸水性樹脂ガムベースに用いられ、低分子ヒルラウリン酸ビニルの場合は、ラウリン酸ビニルを1～8モル%である。

天然エラストマーとしては、エトドード及び液状タックス及びアクリルのようアルキルゴム及びジエチレン、レカステ、ペイロ、ソカヘ、マツランド、エーラテ、マツランド、バナコート、ニスロ、ロングハイ、チカル、ガタシングのうちなじみのあるものを組合せが用いられる。また、ヒドロエラストマー及び天然エラストマー場合には、ペースをもつてヒドロシンブルド配成され得るよう、天然又は合成の樹脂高分子及びポリマーが用いられる場合がある。併し天然エラストマリーに、ジエチレン、ナフム、ソルビジオサツカニアーバラダがある。

エラストマーに用いられる、特に水溶化ロジンのグリセロールエカルム、脂由ロジンのグリセロールエカルム、脂肪酸の重合ロジンのグリセロールエカルム、ロジンのグリセロールエカルム、脂肪酸の重合ロジンのヘキサエチルエラストマー、ヒドロエラストマー、ロジンのナラ及びガムの高分子度メタニスカルム、ロジンのヒントリカルム等が、ロジンのナラ及びガムの高分子度メタニスカルムは、ターピン油及びアズダーマカルムから得られるグルコノ酸のうちの結晶形、及び角野より得たものと用いられる場合が多用される。併し天然エラストマー可塑化し得るの用法と用例に用いられるエラストマーの種類は以上の要である。

天然乳チクチクライマーとしては、純度マジンの乳酸カルシウム、鈴木乳酸、ケイ酸マジンの乳酸カルシウム及びアルカリのようアルカイ酸、クレー、アルミ、タルク、脱水硫酸ナトリウムカルシウム等が用いられる。また、カルボキシル酸の乳酸カルシウム等が用いられる。

軟質剤の乳化剤として、糊粉、水溶化糊粉、水溶化糊粉の乳化剤及び糊粉、ヨウ化鉄、グリセロールモノステアレート、ブリセロールチアセチート、レシチン、モノ、ジエチルリチウム、デマルチナリオウド、高吸水性樹脂(例えばアクリル酸、パラヒドロベンゼン、オクチル基及びノブノイ酸)及びその組合せが挙げられる。但し又は他の軟質剤と組合せられた水溶化糊粉が適切好まし

い。下記で詳説に述べられるように、ぬれ洗浄及び電子、少なくともある種ペースについて及び少なくとも部分的にマックスの値を有能するように決定されている。

各色糊粉及びホワイトマーとしては、FDある糊粉乳化剤の糊粉、フルーツ及びベリー、二酸化チタン及び他の顔料が挙げられる。

本発明のワックスを含まないガムベースが少くとも10%以上(既存物)活性を有するヒドロカルム(油)が(アクリル)ガムに用いられべきである場合、ペースは好ましく合成エラストマー(例)1～6の40重量%、エラストマー可塑剤約1～5%の量を算出し、汎用的約1～5%の量を算出し、糊粉剤へ約1重量%及び糊粉乳化剤約1～5%の量を有しないはならない。例によりワックスを含まないガムの導入実験結果は、以下実験例1～3に示される。

表1：低粘度特性を有するチャーフィングに有用なワックスを含まないガムペース(実験例1-3)

実験例1-3				
糊粉・実験例 #:	1	2	3	4
一般成分				
“合成エラストマー”				
ステレーン-ブタジエンエラストマー	9.3	--	2.1	1.1
ブタジ(エチレン-1-ブタジエン)				
エラストマー	8.0	1.9	2.2	14.5
ポリイソブタレンエラストマー	2.1	--	2.4	5.5
ポリ酢酸ヒル	10.5	21.2	25.3	31.7
“エラストマー可塑剤”				
ロジンのグリセロールエカルム	2.1	--	16.0	--
脂肪酸の重合ロジンのグリセロール				
エスカルム	4.0	18.2	--	15.3
カルボン酸脂	19.8	--	--	--
“糊粉剤”				
度母カルシウム	--	15.9	28.7	--
タルク	25.6	--	--	72.1
“軟化剤”				
水溶化糊粉	15.3	22.6	24.3	25.4
グリセロールモノステアレート	5.2	7.4	4.0	5.1
レシチン	2.2	0.8	--	1.1
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

実験例 5-6

糊粉・実験例 #:	5	6	7	8
一般成分				
“合成エラストマー”				
ステレーン-ブタジエンエラストマー	1.0	--	--	--
ブタジ(エチレン-1-ブタジエン)				
エラストマー	--	8.1	14.0	2.4
ポリイソブタレンエラストマー	26.8	3.5	3.2	33.0
ポリ酢酸ヒル	15.1	27.0	30.2	32.3
“エラストマー可塑剤”				
ロジンのグリセロールエカルム	3.7	--	4.9	--
脂肪酸の重合ロジンのグリセロール				
エスカルム	7.9	--	12.6	--
カルボン酸脂	7.1	26.8	--	16.0
“糊粉剤”				
度母カルシウム	17.7	11.4	--	20.0
タルク	--	--	13.1	--
“軟化剤”				
水溶化糊粉	21.0	14.8	16.0	30.7
グリセロールモノステアレート	3.5	4.8	9.8	4.8
レシチン	2.4	2.7	1.2	--
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

特表平7-506962 (5)

実施例 9-12

種類・実施例 :	9	10	11	12	種類・実施例 :	13	14	15	16
<b>一般成分</b>									
<b>"合成エラストマー"</b>									
ステレーン-ブリエン-エラストマー	5.2	2.1	4.3	5.9	ステレーン-ブリエン-エラストマー	3.9	--	2.1	1.6
ブチル(イソブレン-イソブリエン)	4.1	7.2	6.7	6.0	ブチル(イソブレン-イソブリエン)	5.3	0.3	6.0	3.7
エラストマー	5.9	7.3	6.4	2.0	エラストマー	12.7	12.0	6.5	6.8
ポリイソブリエン-エラストマー	23.7	15.3	21.8	24.8	ポリイソブリエン-エラストマー	14.8	21.0	15.2	22.3
ポリ酢酸ビニル	--	--	--	--	"エラストマー可塑剤"	--	--	--	--
"エラストマー可塑剤"	--	--	--	--	ロジンのグリセロールエステル	--	--	19.1	8.0
ロジンのグリセロールエステル	23.5	19.1	2.6	8.6	部分的水素化ロジンのグリセロール	--	--	--	--
部分的水素化ロジンのグリセロール	--	--	--	--	エヌテル	--	--	5.9	4.0
エヌテル	--	--	--	--	タルベイン樹脂	11.4	6.2	--	11.6
タルベイン樹脂	2.2	--	17.1	1.0	"充満剤"	--	--	--	--
"充満剤"	--	--	--	--	脂肪カルシウム	13.7	21.0	18.0	--
脂肪カルシウム	15.1	29.7	--	9.9	タルク	1.4	--	--	17.2
タルク	--	--	14.0	1.2	"軟化剤"	--	--	--	--
"軟化剤"	--	--	--	--	水素化樹脂油	16.7	26.0	24.2	17.1
水素化樹脂油	12.2	24.3	19.5	21.1	グリセロールモノステアレート	5.7	3.6	4.0	6.0
グリセロールモノステアレート	5.1	4.0	4.4	3.7	レシチン	2.3	--	--	--
レシチン	--	--	2.1	--	合計%	100.0	100.0	100.0	100.0
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0					

実施例 17-20

種類・実施例 :	17	18	19	20
<b>一般成分</b>				
<b>"合成エラストマー"</b>				
ステレーン-ブリエン-エラストマー	--	2.7	--	--
ブチル(イソブレン-イソブリエン)	--	--	--	--
エラストマー	8.1	2.3	6.3	2.6
ポリイソブリエン-エラストマー	3.6	16.2	10.0	21.1
ポリ酢酸ビニル	27.3	37.3	21.3	38.8
"エラストマー可塑剤"	--	--	--	--
ロジンのグリセロールエステル	--	--	--	18.6
部分的水素化ロジンのグリセロール	--	25.3	--	11.2
エヌテル	--	--	9.7	2.7
タルベイン樹脂	20.9	--	--	--
"充満剤"	--	--	--	--
脂肪カルシウム	13.3	--	21.5	8.4
タルク	--	8.2	--	--
"軟化剤"	--	--	--	--
水素化樹脂油	14.3	22.4	23.2	18.2
グリセロールモノステアレート	4.8	2.7	5.4	3.3
レシチン	2.7	2.9	--	--
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

実施例 21-24

種類・実施例 :	21	22	23	24
<b>一般成分</b>				
<b>"合成エラストマー"</b>				
ステレーン-ブリエン-エラストマー	--	1.4	1.2	--
ブチル(イソブレン-イソブリエン)	--	--	--	--
エラストマー	7.4	8.1	7.2	8.0
ポリイソブリエン-エラストマー	1.9	1.9	7.8	3.5
ポリ酢酸ビニル	24.8	28.1	21.1	27.9
"エラストマー可塑剤"	--	--	--	--
ロジンのグリセロールエステル	--	13.1	11.3	--
部分的水素化ロジンのグリセロール	--	--	20.1	2.4
エヌテル	--	--	8.6	5.5
タルベイン樹脂	23.8	--	--	27.4
"充満剤"	--	--	--	--
脂肪カルシウム	18.6	--	--	11.9
タルク	--	7.3	14.6	--
"軟化剤"	--	--	--	--
水素化樹脂油	12.3	13.3	10.5	12.3
グリセロールモノステアレート	4.4	4.4	2.6	4.7
レシチン	4.0	2.7	--	3.5
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

特許平7-506962 (6)

実施例 25-26					実施例 27-28		
種類・実施例 No.	25	26	27	28	種類・実施例 No.	27	28
一般成分					一般成分		
<b>"合成エラストマー"</b>							
ステレーブルジエンエラストマー	4.1	--	--	--	"合成エラストマー"		
ブルル(イソブレン+イソブチレン)					ステレーブルジエンエラストマー	--	--
エラストマー	11.3	10.0	9.2	2.4	ブルル(イソブレン+イソブチレン)		
ポリイソブレンエラストマー	7.0	1.0	0.3	0.4	エラストマー	8.3	8.0
ポリ酢酸ビニル	19.2	27.0	13.1	20.5	ポリイソブレンエラストマー	3.5	2.2
<b>"エラストマー可塑剤"</b>							
ロジンのグリセロールエステル	--	--	--	--	ポリ酢酸ビニル	22.9	27.4
脂肪族水素化コシジングリセロール					"エラストマー可塑剤"		
エステル	28.2	--	10.9	--	ロジンのグリセロールエステル	--	--
テバイン樹脂	1.4	25.3	--	23.5	脂肪族水素化ロジンのグリセロール		
<b>"充填剤"</b>							
炭酸カルシウム	13.6	11.0	22.0	--	エヌカル	--	--
タック	--	--	--	15.6	テルルン樹脂	25.3	28.3
<b>"軟化剤"</b>							
水素化過酸化物	8.2	16.4	18.6	18.2	炭酸カルシウム	11.3	16.0
グリセロールモノステアレート	5.2	4.8	12.6	6.0	タック	--	--
レジン	8.9	3.7	--	1.5	"軟化剤"		
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0	水素化過酸化物	16.5	32.5
					グリセロールモノステアレート	4.0	4.7
					レジン	2.7	3.6
					合計%	100.0	100.0

本発明のワックスを含まないガムベースが持続緩和性を有しないレギュラー(ノーブル)ガムに用いられないがきである場合、ガムベースは最もよくは天然ゴムエラストマー約1%～約2.3%重量分、合成ゴムエラストマー約2.0～約4.0%重量分、エラストマー可塑剤約1%～約1.5%重量分、充填剤約1.0～約2.5%重量分、軟化剤約1.5～約2.0%重量分、着色剤約0.01～1%重量分及び物性改良剤約0.1～0.5%重量分を含有しないければならない。尚ほこれらワックスを含まないガムの他の実施例は、以下の実施例1～5に示される。

表5: 低泡性特徴を有するチャーチング化用のワックスを含まないガムベース  
(実施例 31-34)

実施例 31-34				
種類・実施例 No.	31	32	33	34
一般成分				
<b>"合成エラストマー"</b>				
天然ゴム	22.9	26.5	23.4	25.1
<b>"合成エラストマー"</b>				
ステレーブルジエンエラストマー	--	--	--	1.0
ブルル(イソブレン+イソブチレン)				
エラストマー	4.8	7.1	0.0	2.1
ポリイソブレンエラストマー	6.7	5.0	3.0	4.7
ポリ酢酸ビニル	15.6	18.7	15.6	24.6
<b>"エラストマー可塑剤"</b>				
ロジンのグリセロールエステル	3.8	--	--	8.2
肥皂的水素化ロジンのグリセロール				
エヌカル	12.3	15.3	15.9	12.6
ロジンのグリセロールエステル	--	--	--	1.1
テバイン樹脂	--	--	--	--
<b>"充填剤"</b>				
炭酸カルシウム	--	4.0	10.7	4.4
タック	7.1	--	--	--
<b>"軟化剤"</b>				
水素化過酸化物	21.9	19.4	16.5	12.6
グリセロールモノステアレート	0.1	4.4	4.8	2.8
レジン	--	--	--	3.7
合計%	100.0	102.0	100.0	102.0

特表平7-508962 (フ)

実施例 30-41

実施例 35-38	35	36	37	38
<b>構成・実施例 :</b>				
-一般成分				
"実施エラストマー"				
天然ゴム	22.8	18.3	23.5	17.6
"合成エラストマー"				
スチレン-イソブリジンエンジニアストマー	2.0	--	--	--
ブチル(イソブレニ-イソブチレン)				
エラストマー	4.1	6.9	6.6	10.2
ポリイソブレンエンエラストマー	3.2	5.4	3.3	2.1
ポリ異丁二烯	16.3	15.2	10.9	10.9
"エラストマー可塑剤"				
ロジンのグリセロールエステル	6.9	--	3.65	11.7
脂肪族水素化ロジンのグリセロール				
エヌカル	13.8	12.9	12.5	4.0
ロジンのメチルエスチル	1.7	2.6	3.4	--
ケルベリン樹脂	--	--	3.7	--
"充填剤"				
炭酸カルシウム	6.2	16.9	--	--
タルク	--	--	9.3	4.6
"軟化剤"				
水素化植物油	18.2	16.1	16.2	15.6
グリセロールモノノステアレート	--	7.1	5.7	6.1
レシチン	3.1	--	1.2	--
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

実施例 39-41	39	40	41	42
<b>構成・実施例 :</b>				
-一般成分				
"実施エラストマー"				
天然ゴム	13.2	16.6	15.7	22.0
"合成エラストマー"				
スチレン-ブリジングエンエラストマー	--	--	1.0	--
ブチル(イソブレニ-イソブチレン)				
エラストマー	9.1	6.4	6.7	5.5
ポリイソブレンエンエラストマー	9.4	3.2	4.1	3.1
ビニル酸ビニル	16.7	15.4	15.7	20.4
"エラストマー可塑剤"				
ロジンのグリセロールエステル	15.2	--	--	--
脂肪族水素化ロジンのグリセロール				
エヌカル	--	18.2	15.5	11.7
ロジンのメチルエスチル	--	0.0	--	4.0
タルベリン樹脂	--	--	--	--
"充填剤"				
炭酸カルシウム	20.6	18.5	12.3	11.6
タルク	--	--	--	--
"軟化剤"				
水素化植物油	15.1	13.9	15.1	17.5
グリセロールモノノステアレート	6.3	6.9	6.4	4.5
レシチン	--	--	--	--
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

実施例 45-48

実施例 45-48	45	46	47	48
<b>構成・実施例 :</b>				
-一般成分				
"実施エラストマー"				
天然ゴム	21.7	21.2	21.3	22.1
"合成エラストマー"	--	--	--	--
スチレン-ブリジングエンエラストマー	--	--	--	--
ブチル(イソブレニ-イソブチレン)				
エラストマー	6.9	5.1	6.1	5.1
ポリイソブレンエンエラストマー	5.9	3.1	2.8	2.1
ポリ酢酸ビニル	23.7	23.0	16.9	22.0
"エラストマー可塑剤"				
ロジンのグリセロールエステル	--	--	15.7	--
脂肪族水素化ロジンのグリセロール				
エヌカル	11.2	15.1	--	16.2
ロジンのメチルエスチル	1.9	--	--	2.0
タルベリン樹脂	2.5	--	--	--
"充填剤"				
炭酸カルシウム	5.6	11.4	--	11.3
タルク	--	--	12.4	--
"軟化剤"				
水素化植物油	12.1	17.2	16.1	17.4
グリセロールモノノステアレート	3.0	3.3	3.0	3.5
レシチン	--	--	--	--
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

実施例 47-50

実施例 47-50	47	48	49	50
<b>構成・実施例 :</b>				
-一般成分				
"実施エラストマー"				
天然ゴム	23.8	24.4	16.7	16.5
"合成エラストマー"				
スチレン-ブリジングエンエラストマー	--	--	--	--
ブチル(イソブレニ-イソブチレン)				
エラストマー	3.1	5.4	5.9	8.2
ポリイソブレンエンエラストマー	7.7	3.1	1.0	2.1
ポリ酢酸ビニル	20.0	26.6	16.6	11.5
"エラストマー可塑剤"				
ロジンのグリセロールエステル	--	--	--	20.0
脂肪族水素化ロジンのグリセロール				
エヌカル	10.4	11.6	11.5	--
ロジンのメチルエスチル	2.0	--	--	--
タルベリン樹脂	5.1	--	--	--
"充填剤"				
炭酸カルシウム	--	9.1	17.0	9.6
タルク	2.5	--	--	--
"軟化剤"				
水素化植物油	15.3	15.0	13.0	22.5
グリセロールモノノステアレート	6.2	--	7.1	--
レシチン	--	--	--	--
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

特表平7-508862 (B)

## 実施例-1

## 実施例-2

種別・実施例 :	S1	S2	S3	S4	種別・実施例 :	S5
一般成分					一般成分	
<b>"天然エラストマー"</b>						
天然ゴム	14.4	18.2	25.2	25.2	天然ゴム	20.7
<b>"合成エラストマー"</b>						
ステレン-ブクジエンエラストマー	--	--	--	--	ステレン-ブクジエンエラストマー	--
ブタル(イソブレニ-イソブレニ)					エラストマー	3.2
エラストマー	9.1	8.8	2.4	3.5	ポリソブレニ-エラストマー	0.1
ポリソブレニ-エラストマー	1.6	3.4	6.9	5.7	ポリソブレニル	17.6
ポリソブレニル	28.1	15.5	15.9	10.1	<b>"エラストマー-母樹樹脂"</b>	
<b>"エラストマー-母樹樹脂"</b>						
ロジンのグリセロールエステル	11.8	--	15.6	--	ロジンのグリセロールエステル	--
過分水素化ロジンのグリセロール					過分水素化ロジンのグリセロール	
エカル	12.0	12.7	--	15.5	エカル	15.4
ロジンのメチルエスチル	--	9.0	--	--	ロジンのメチルエスチル	--
カルボン酸	--	--	2.1	1.1	デルカイン酸	--
<b>"光硬化"</b>						
真性カルシウム	16.1	15.7	--	--	光硬化	--
タルク	--	--	7.1	6.2	タルク	8.0
<b>"光硬化"</b>						
水素化基樹脂	15.6	16.0	16.4	16.4	水素化基樹脂	15.4
グリセロールモノステアレート	--	7.1	4.5	4.4	グリセロールモノステアレート	2.6
レシチン	--	--	--	--	レシチン	1.6
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0	合計%	100.0

高3：遮蔽ガムに有用なワックスを含まないガムベース (実施例-56-1)

## 実施例-56-2

種別・実施例 :	S6	S7	S8	S9
一般成分				
<b>"合成エラストマー"</b>				
ポリソブレニ-エラストマー	17.1	15.7	11.7	8.2
ポリソブレニル	24.9	25.6	38.4	39.9
<b>"エラストマー-母樹樹脂"</b>				
ロジンのグリセロールエステル	8.5	8.0	10.7	14.6
過分水素化ロジンのグリセロール				
エカル	--	--	--	--
<b>"光硬化"</b>				
真性カルシウム	--	--	--	--
タルク	31.2	31.9	34.2	34.0
<b>"光硬化"</b>				
グリセロールトリアセテート	4.6	3.9	4.4	4.7
グリセロールモノステアレート	5.8	5.7	4.2	4.6
アセチル化モノグリセリド	8.1	5.2	5.4	5.0
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

特許平7-506962 (D)

実施例 64-65

種類・実施例	64	65	66	67
<u>一般成分</u>				
"合成エラストマー"				
ポリイソブレンエラストマー	11.6	15.7	12.2	5.4
ポリ酢酸ビニル	36.5	32.1	32.2	34.0
"エラストマー可塑剤"				
ロジンのグリセロールエステル	12.8	27.4	22.6	16.3
部分的水素化ロジンのグリセロール				
エステル	--	--	--	--
"充填剤"				
炭酸カルシウム	--	--	--	30.2
タルク	21.9	16.1	17.3	--
"軟化剤"				
グリセロールトリアセテート	5.0	6.0	5.0	5.0
グリセロールモノステアレート	4.0	4.7	4.1	3.0
アセチル化モノグリセリド	5.0	5.1	4.0	2.1
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

実施例 66-68

種類・実施例	66	67	68	69
<u>一般成分</u>				
"合成エラストマー"				
ポリイソブレンエラストマー	11.6	7.9	11.6	10.6
ポリ酢酸ビニル	41.2	34.3	37.6	31.5
"エラストマー可塑剤"				
ロジンのグリセロールエステル	--	--	--	--
部分的水素化ロジンのグリセロール				
エステル	20.4	14.8	20.8	20.8
"充填剤"				
炭酸カルシウム	--	29.8	--	--
タルク	14.0	--	17.0	18.5
"軟化剤"				
グリセロールトリアセテート	4.2	5.3	5.6	5.2
グリセロールモノステアレート	7.6	5.9	5.2	3.1
アセチル化モノグリセリド	--	8.0	5.0	3.2
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

実施例 64-67

種類・実施例	64	65	66	67
<u>一般成分</u>				
"合成エラストマー"				
ポリイソブレンエラストマー	7.9	17.2	18.0	11.6
ポリ酢酸ビニル	34.8	31.3	37.1	35.9
"エラストマー可塑剤"				
ロジンのグリセロールエステル	14.8	11.2	--	--
部分的水素化ロジンのグリセロール				
エステル	--	--	13.8	15.9
"充填剤"				
炭酸カルシウム	22.5	30.6	18.5	15.0
タルク	--	--	--	--
"軟化剤"				
グリセロールトリアセテート	5.2	6.6	5.6	5.0
グリセロールモノステアレート	3.0	6.1	3.0	1.6
アセチル化モノグリセリド	3.0	--	--	--
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

実施例 68-71

種類・実施例	68	69	70	71
<u>一般成分</u>				
"合成エラストマー"				
ポリイソブレンエラストマー	11.6	7.9	11.6	10.6
ポリ酢酸ビニル	41.2	34.3	37.6	31.5
"エラストマー可塑剤"				
ロジンのグリセロールエステル	--	--	--	--
部分的水素化ロジンのグリセロール				
エステル	20.4	14.8	20.8	20.8
"充填剤"				
炭酸カルシウム	--	29.8	--	--
タルク	14.0	--	17.0	18.5
"軟化剤"				
グリセロールトリアセテート	4.2	5.3	5.6	5.2
グリセロールモノステアレート	7.6	5.9	5.2	3.1
アセチル化モノグリセリド	--	8.0	5.0	3.2
合計%	100.0	100.0	100.0	100.0

実施例 72-74

種類・実施例	72	73	74
<u>一般成分</u>			
"合成エラストマー"			
ポリイソブレンエラストマー	11.6	11.6	11.6
ポリ酢酸ビニル	33.5	35.4	37.0
"エラストマー可塑剤"			
ロジンのグリセロールエステル	--	--	--
部分的水素化ロジンのグリセロール			
エステル	19.5	18.6	20.3
"充填剤"			
炭酸カルシウム	--	--	--
タルク	31.9	18.7	16.7
"軟化剤"			
グリセロールトリアセテート	5.0	4.3	5.7
グリセロールモノステアレート	2.9	2.2	4.5
アセチル化モノグリセリド	5.5	5.5	3.0
合計%	100.0	100.0	100.0

指针7-506962 (10)

上記の製造方法は真空炉のみならずであります。チャーニング及びバブルベース方式に適用するが、本発明に記載されるバブルベースの新しい製造方法があることを申明した。

オズ、オズ西原ゼニルの金型とボリソフチレンの一帯とを実用刑に加え、加熱レジンマラード／キラードで組合す。次いで、ダセナセトキサセトアセト及び、又はアセトキスルホノゲリドのより古式化成法によリボリソフチレンと光触媒の第2部分と共に加える。場合によっては、ジペースポリから製造されたガムの略ら心地を失えないものである。アセトキ化モノグリセリドが工具の熱わりに加熱

次に、ボリソップテレンと光触媒の組合をエクストオーラ製剤と共に加える。最後に、グリセロールモノステアレートと保湿防腐剤のような残りの成分を加える。着色料は塗装工程のいかなるときにも加えてよく、軽ましく林化めに加えられる。

上記の点らしい方法で音の変更があるが決して実現される方法を確立するのではなく、ガムベース製造業者は、要らない変更を理解することができる。つまり、アーティストビニルの高いワックス含むガムベース、特に高分子量アーティストビニルの開発をして製造するには、工業でのため点でレグマブリード・ド・キヤーは初めて地盤を構築することにより成功と実績を収むことが必要である。

おこなうべき事。  
実務的・技術的にデーターイングのため、1-1-5を重視。好むし好むシューイー  
ングのため、1-2も重視。又に好むし好むシューイーングのため、1-3も重視  
の上で、データーイングに好むし好むせざるがならない。専門知識としては、テクナ  
カル、フレッシュエンジニア、ペーパーメント、スペアマン等、他のヒント候補、チ  
ームリーダー、ランクマーケット等、アスニスの専門知識及びルーツから導き出さ  
れるような知識等、会員の専門知識そのものを評価するのにこれに適用されれば  
良しと評価される。専門知識は会員の評価の基準に採用される。

着色料、乳化剤、医薬物及び添加香料剤のような医療成分もチューインガムに含まれることが可能である。

チューイーブルは、通常音楽技術において複数の音楽のミキサーに複数のチャイング操作を加えることにより製造される。操作を十分に得た後、ミキサーから各の音楽を出し、レコードに混ぜて音楽にする。チャックに押す時は又はペレットに注目するように音楽の形に成る。導入、ガムベースをスマッシュして、それをランニングミキサーに放することにより部分を混合する。また、ガムベースをミキサーに加えてよい。昔色反応化物はこのときに加えることがある。

次に、グリセリンのような軟化剤をシリップ及び増量部分の一部と共に加えることができる。次いで、更に増量部分の一部をミキサーに加えることができる。稀溶液剤は、典型的には増量部分の最終百分比と即れる。全処方工程は典型的には10～15分かかるが、更に長い混合時間が必要とする場合もある。当面では本項手順の実質上は他の処方手順を行ってよいとした結果である。

り、ガムベースの濃度を下げ、その辺分の個数を増大させる。本発明のワックスを含まないガムベースを製造する本発明のガムベース工法においては、あくまで加熱を施さずする必要がない。不用媒體の濃度はワックスが溶けないところから

水不溶性ガムベースの他に、半製的なチェーンガム粗粒物としては水溶性高分子分量ヒドロキシ化物の香料を含んでいます。水溶性のワックスを含まないガム

ースは典型的なチューリングガム類似物によって用いることができます。  
チューリングガムの肥厚部分としては、軟化剤、強化甘味剤、非常に強い香料、着色料及びその組合せが挙げられる。軟化剤はガムの柔軟性をもたらす

りを最適化するためにチューニング用に加えられる。可変率あるいは可逆化率としても知られる軟化率は、通常、チューニング用の約0.5～1.5質量%を構成する。軟化剤としては、グリセリン、レシチン及びその結合物が用いられる。ループトルト、ガラス、ガラス・ガラス複合、コーンシリコラブ等多くの形の熱交換器がある。

増量せば解消する。チューリングムの5-9.5%程度、典型的にはナーリングムの2.5-3.0%程度、通常チューリングムの3.0-6.0%程度を供給する。増量せば解消する。

甘利氏としては、ショーガー及びシユガーシス間の利害関係が指摘される。ショーガーは時刻としては、スクロース、デキストロース、マルトース、デキストリンを酸化酵素、フルクトース、レブロース、ガラクトース、ゴーンシロップ(即ち

そのカッコリドは必ず彼が本物で又は詐欺者であつて偽りの者からこれに騙されない。ショガーレスを假眠として、せば特種を賣ぐる能力をもつて、一緒に假眠を販じてゐる。ショガーレスを假眠として、ソルビール、マニートル、キシリートル、水酸化デンプン加水分解物、マルチートル等を単品では組合せで售るがこれらは類似されない。

非常に強い抑制剤も存在することができ、通常シガーレス喫煙剤と用いられる。使用される場合、非常に強い抑制剤は通常型ではチャーミングム $0.9\% - 1.5\%$ 重量%、非常に強い抑制剤はチャーミングムの $0.1\% - 0.5\%$ 重量%である。強度的にはタバコより少なくとも10倍程度である。これは、スクラバース、アスピラルム、アセタリツム、アリクム、サッカリン等には、

るガムを生じるガムベースを得る方法が開発される。多数のガムベースが開発されたり、その多くは市販されているたりしている。本研究者はこれらベースの大多数がワックスを含有すると考える。実際に、ワックスを含有しない、5%の含有量なら何物があるが、これらの物は通常型ではワックスを含むが存在する新規の物である各種の新規性によって生じる特徴的な性質に簡単に変化されており、既にワックス

スを含むガムと同じく長い文はより良好な物性を有するガムを製造するために用いることができる。ワックスを含まないガムベースを強調しないと考えられる。

って、既存の新規又は制御器具がワックスを含まないベースを必要とする及び、又は好ましいとする状況においてワックスを含まない新品を製造する方法を確立することが望まれたのである。

行なう。ワックスをベースペーストに混ぜると、万能接着剤の性質が失われる。ワックスを剥離したツイッグズの形状を手で押さえるように少くともベースペーストを適量の剝離剤の割合を加めることであることを発見した。3式の焼成窯がワックスの剥離量と他の剥離量についてなされることは必要なない。むしろ、剥離されたガラスは必要な物を奪るために、ワックスベースペーストと同じく良い歯科用の接着剤となる。この接着剤は、歯科用接着剤を用いて、特に歯科用接着剤が溶け出す場合に適する。

更に詳細には、半失明の方法及び複数成分の混合問題においては、複数成分の量よりも複数点 (CMP) は選択されたワックスを含まないガムベースが対応するワックスを示す。

タスクを含むループストラクチャを用いて、逐次更新のペーストライアルを実現する。各ペーストライアルは、4つの異なる属性をもつ。属性1は、試験条件を示す属性である。属性2は、評価指標を示す属性である。属性3は、評価指標の値を示す属性である。属性4は、評価指標の標準偏差を示す属性である。属性1と属性2は、属性3と属性4を用いて、属性1と属性2の組合せに対する属性3と属性4の組合せを算出する。属性1と属性2の組合せに対する属性3と属性4の組合せを算出する。属性1と属性2の組合せに対する属性3と属性4の組合せを算出する。

特表平7-506962 (1)

実践指導においては、はじめに他の動物を驚かせず、むしろ他の飛鳥を観察する訓練を行なう。高い樹木をもつ林を走るとともに低い樹木をもつ林を減少させることにより飛鳥を演習する。また、浮かれるガムベースを駆逐するか又はチーインガムベースのバードルを演習する。

ガムペースト又はガムの味わい特性がお十分でない場合には、ガムペースト中の明胶又はアラゲの取扱を変更することができる。次の段階として、ワックスを全くないベース中のラストマー可塑剤の量を変更することができる。ガムペースト中のエラストマー可塑剤の過剰が味わい特性に寄与する場合に限りしてこれらの手段を利用して、味わい特性を相殺することなくガムペーストからワックスを削除せねばならない。

ガムベース式の割合に拘らず以上のタクシ会員を中心場合には、工程の初期段階でタクシを販売しかつ動向を把握して増すことが必要です。前の段よりは、最初からタクシ会員に在りに対する対応を早めで確実にすることが必要ではない。むしろ、タクシ部分の回数を大変に高めようにならぬうちにとどめを増加させます。次いで得られたものは競争されるあるいはチーディング等を製造するためにこれらを、そのときに結果的に得てそれを手筋に利用される。

導かれたダメベースの特徴が十分でない場合には、他の歯科がむづかしく変更される。また、他の歯科を上書きせたために、高い難度をもつ歯、例えば大臼歯の複雑な形態をもつ歯、あるいは実験室を減少させる。

更にダメベースを複数する。ダメベースが複数ある場合は年々ないことが判明した場合には、他の歯科を常に見直すことができる。

現在では、ベースを含まれる組合を構成することができる。  
当の組合を更に更新する段階で既存のチャーチングガムベースが報道されない場合には、エリストマ・ヤマト組合が影響を及ぼす。

この方法を使用することにより、実際にドリンク上のラップを含むガムベースからカラーウックスを抜取ることができ、ラップを含むガムベースから削除されたガムより販売している場合には明らかに不公平感を抱かせるチャーチングガムを削除するために頑固に争うことができる。ウッタクを含まないガムベースを削除することができる。

の少なくとも1を意識するものが珍らしいことが判明した。

部分的水素化触媒、水素化触媒と共に用いることができる。部分的水素化触媒は、 $43 - 50^{\circ}\text{C}$ を有することが好ましい。実施態様においては、部分的水素化触媒をベースの全重量に対して 1% 以下で感いることが好ましい。

本項編纂で用いられる“性”は虚無論に用いられ、水素化油添が皮肉的に虚無として分類される生産物が挙げられる。

更に、エラストマー荷重計を導入すると、ワックスを軽くときのガムベース模型の被覆を示しかつ改良することができる事が判明した。この点でも、エラス

トマー可逆剤の標準化度(式をB-S.P.)がワックスを含まない製品について重要である。水洗明のワックスを含まないガムベースの実施基準においては、エラストマー可逆剤の標準化度が約 0.8-0.85%を有する。このようにニ

ストマー可逆剤としては、二塩化ロウソクエスチル（80—130°C）；4-クンの  
ゲリセロールエスチル（80—90°C）；部分的水素化ロウソクのゲリセロールエ

スチル ( $75-90^{\circ}\text{C}$ ) ;及びアルペニン酸脂 ( $80-130^{\circ}\text{C}$ ) が挙げられる。本実験によれば、ワックスを含む熱可塑性ガムベース組成からワックスを除去する方法は種々あるが、その最も簡単な方法は、溶媒による抽出法である。

する方法が考案される。これを目的として、実験結果においては、ワックスが吸収されるべきガムベースがはじめに約1/3以下のワックスを含む場合には、工程の初期後期でワックスを逆方から吸収かつ他の成分と比較して増加させる。増加

される各成分又は各微粒が医療と同じ程度まで理屈させることは必要ない。むしろ、少なくとも大部分の成分を軽ましくは批判して指摘させる。

ガムベースの存続方策に、降られたガムベースを試験する。これを目的としてガムベースはその物理的性質、例えばレゾロジーを求めるために試験して、その性質が希望のワクスを有するガムベースに近づくと実質的におこなっている操作

には拘束することができる。場合によっては、このガムペースをチューインガムを販売するために用いることができる。次いでチューインガムを試験して如何

（ワックスを含有する通常のガムベースから製造されたガム）より良好でなければ十分に良い味と特徴を有する場合には決定することができる。

あなたたがみが十分に良好な噛み合せを有しないか又はガムベースの咬合面で  
異常が十分でない、ことが判明した場合には、ガムベース中の歯の削除を検討する。

限界されない例により、ワックスを含むガムベース（封閉）を本発明による封閉側面から剥離されたワックスを含まないベースと比較する実験例をここに示す。

大物四 22-23

1. プレーリングダム		70	70	77.31月
種別	年	10.5	15.5	
エヌストマー	10.5	15.5		
PAC	13.1	14.1	13.1	
エヌストマー-可逆型	14.0	14.2	16.9	
ワックス	—	—	14.7	
水素化物型	14.8	15.6	14.2	
既存	97°C	97°C	97°C	
種別	70	70.31月	77.31月	77.31月
エヌストマー	11.7	11.7	12.0	
PAC	13.3	21.3	21.4	
エヌストマー-可逆型	14.9	26.9	27.4	23.9
ワックス	14.7	12.0	12.5	3.5
水素化物型	—	12.2	—	12.4
既存	97°C	97°C	97°C	
種別	82	82.31月	79	79.31月
エヌストマー	11.1	18.9	16.7	18.7
PAC	23.5	22.5	21.5	18.2
エヌストマー-可逆型	27.6	9.7	8.8	19.5
水素化物型	12.6	23.8	15.5	21.4
ワックス	—	—	4.3	10.0
既存	97°C	97°C	97°C	

基础教育研究

	11.9	11.9	11.7	20.9
PtAc	27.5	27.6	27.3	21.7
エラストマー可逆的	25.3	23.8	25.6	---
ラバス	—	14.4	—	---
水素化植物油	16.5	2.9	14.2	26.4
軟化油	57°C	60°C	60°C	64°C
温度範囲-15°C	—	—	—	—
種類	11	10	10	10
エラストマー	26.8	31.3	29.3	30.5
PtAc	92.0	92.4	83.5	15.1
エラストマー可逆的	—	11.7	15.2	14.7
水素化植物油	17.1	6.7	16.9	5.2
ラバス	—	12.9	—	11.3
軟化油	60°C	60°C	60°C	60°C
温度範囲	91	94.29	91	94.29





特表平7-506962 (14)

フロントページの続き

(2)指定国 EP(AT, BE, CH, DE,  
DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M  
C, NL, SE), AU, CA, FI, JP